



○ことばを増やそう

こどもが見ているものやしていることを、大人がことばにして聞かせてください。

(例えば、「鳥が飛んでいるね」、「ごはん食べようね」、「服、着ようね」、「靴、履こうね」等)

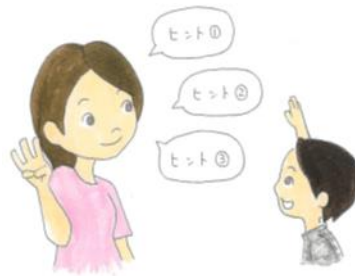
○やりとりする力を育むために

まずは「Yes/No」で答えられる問いかけをして、答えられた経験を積み重ねてください。それができてきたら、選択肢（まずは2つの選択肢から）を与えて、答えられた経験を積み重ねてください。

上記のようなことをできた経験を積み重ねたら、応答力を育むために、大人がどのように表現すればよいのかモデルを見せてください。気持ちを大人が代弁して聞かせていただくことも行ってください。

☆ことばで表現する力やイメージする力を育むための遊び（5歳頃から）

- ・スリーヒントクイズ（ヒントが覚えにくい場合には2つのヒントからでもOK）
- ・なぞなぞ 等々



○吃音

吃音は専門家が適切にアプローチすることが大切です。吃音かなと感じたら、専門機関に相談しましょう。

○ことばの不明瞭さ

※言い直しさせずに、大人が正しい音を聞かせてください。

ことばが不明瞭になるのは、口周りの筋肉や舌の動きが影響しています。

☆口周りの筋肉や舌の動きを滑らかにするために

- ・ミルクせんべい舐め

(真ん中にせんべいを割らないように穴をあけていく)



- ・ソフトクリーム舐める



- ・口の周りにジャムや小さな食べ物（例えば、ラムネや米粒等）をつけて、舐め取る。



- ・風船膨らます



- ・にらめっこ遊び



- ・吹き戻し



- ・ストローでコップの水等をブクブクと吹く。

- ・食事の際、よく噛んで食べる。



大人も一緒にこどもと遊びを楽しみましょう♪

